

# 大豆島地区住民自治協議会だより

2024年3月  
NO.51



ながの縁を  
信都・長野市

大豆島地区住民自治協議会スローガン **まめやか大豆島 ふれあう笑顔**



ホームページ [www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/mamejima/473994.html](http://www.city.nagano.nagano.jp/soshiki/mamejima/473994.html) (長野市 HP 内)  
ブ ロ グ <http://mamejima.naganoblog.jp/>

発行者：大豆島地区住民自治協議会

〈本年度の活動について住民自治協議会会長、各部会長から報告します〉



## 「感謝」です

大豆島地区住民自治協議会 会長 山口 眞

昨年新型コロナも5類となり、今年は良い年になってほしいと迎えた新年早々に能登半島地震が襲いかかり、大変な被害が出ております事に心を痛め、早い復旧、復興を願うばかりであります。

さて、令和5年度の住民自治協議会の活動も昨年4月にスタートし、一年が過ぎようとしております。住民自治協議会の何たるかもよく知らない私が会長の大役を引き受け、どうなるのかと心配をしましたが、区長会の仲間、又地区の住民の皆様方の暖かいご協力をいただき、ようやくゴールが見えてまいりました。その間、東外環状線の4車線化、落合橋の架け替え、大豆島小学校改築、エムウェーブ南産業団地開発、等々大きく変わりゆく大豆島の多くの課題と向き合ってきました。

このような課題がより良い方向に進み、私達住民が暮らしやすい、夢多い、誰もが住みたい「街」となることを願ってやみません。

ご協力いただいた皆様方に感謝申し上げますとともに、大豆島地区の更なる発展と、地区住民の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

### 福祉健康部会

「みんなで話し合える地域に」 部会長 保谷 利信

本部会は地域の福祉、健康全般に亘り地域福祉活動計画に沿って事業を運営、推進しています。地域住民すべてが担い手となり、選ばれた各区役員と協力10団体と一緒に市・市社協・各団体と連携・協働し、住自協事務局に専従の地域福祉ワーカーと地域たすけあい事業コーディネーターと共に支援します。

「社会を明るくする住民集会」は犯罪や非行のない安全・安心な地域をつくり、罪を犯したひとの立ち直りを支えもう一度やり直す社会をめざそうとするものです。「住民福祉大会」はボランティア表彰を実施し、子ども支援に関わる地域社会の気づき見守り寄り添いの大切さを実感しました。「地域たすけあい事業」や「あいさつ運動」も現状の課題を指摘し、本来の趣旨を確認しつつ継続して行きます。そのほか福祉関係団体のそれぞれの事業活動に対しても深く感謝申し上げます。

地域福祉は人とひととの繋がり支え合いが基本です。元気に生き生きとした生活を送りたいと誰もが願うなか、今年度検討部会でも住み慣れた地域で暮らし続けるためのテーマ「高齢者の生活支援」について、地域の暮らしぶりや特性を生かした支え合いの仕組みづくりの協議を進めており、生活支援に関する実態ニーズ調査で地域の状況を把握するところから始めています。



検討部会での様子

生活を支え合う仕組みづくりのための課題解決に向けてみんなで話し合える地域にしたいと思います。

本年度の公民館活動は、本館役員・地域公民館役員の皆様のご支援ご協力を得て、間もなく終えようとしています。

今年度はコロナ下で分断されがちだった地域コミュニティの再生、「つながろう！大豆島再び！！」を合言葉に掲げ諸事業に取り組んで参りました。

中でも、「私達も何か役に立つことがしたい。」との思いから、甚句まつり、菊花展等の行事や地区の各種団体との交流活動に積極的に関わりを持ってくれた大豆島小児童の皆さんにはコロナ下で重くなっていた大人の腰を叩き、叱咤激励されたような思いでした。また、春・夏・冬季親善球技大会や菊花展では、地位公民館の皆様の団結力を見させていただきました。そして、ここ数年で定着しつつある秋の“ふれあいウォークラリー”が、昨年に引き続き天候不良で“防災クイズ&じゃんけん大会”になってしまったのは残念でしたが、参加者の皆さんからは大変好評を頂き、公民館役員をはじめご協力頂いた地元各種団体・農家・商店等の皆様のお力添えのお蔭であると心より感謝申し上げます。

来年度も引き続き、明るく元気で楽しい大豆島の地域づくりの一端を担うべく、取り組んで参りますので、どうか変わらぬご支援ご協力の程をお願いいたします。



菊花展会場の草取りに協力してくれた児童の皆さん

## 子ども育成部会

### 「まめっ子縁日が4年ぶりに開催」 部会長 山岸 賢一

令和5年はコロナの感染症が5類になった事で、中止となっていた様々な活動が復活する中、子ども育成部会でも一番大きな行事といえる『まめっ子縁日』が4年ぶりに開催することが出来ました。

『まめっ子縁日』の当日は7月の猛暑にも関わらず600人を超える地域の子供たちが集まり、かき氷・ポップコーン・エアートランポリン・輪投げ・スーパーボール・ビンゴゲームを楽しんでもらい、夏休みの良い思い出になったのではないかと思います。手伝ってもらった子どもスタッフも初めてとは思えないくらい上手に立ち回り、大人が驚く程の活躍で『まめっ子縁日』としては大成功に終わったと思います。ただ4年ぶりという事で大人も子供も経験者が少なく、準備に多くの時間を掛けたり、多くの皆様にご協力をいただきましたが、終わってみるといろいろ反省する事もあり、次回開催に生かしていきたいと考えています。その他に予定していた『まめっ子新年会』では、初めての焼き芋大会を計画しましたが、当日は冬に珍しい雨が降り、やむなく中止としました。

子ども育成部会では、部会や子ども達を対象とした活動のほかにもいろいろな活動を行っていますので、その内容をご報告させていただきます。

#### ◎広報事業

7月 「まめっ子クラブ参加児童募集」のチラシを作成し、小学生に配布

3月 「子ども育成部会だより」を作成し、全戸配布

#### ◎教育講座の開催

11月 今年度は、ながの環境エネルギーセンターを見学

#### ◎巡回指導の実施

学校の長期休み（春・夏・冬休み）に7地区の公園、神社、コンビニなど巡回

#### ◎大豆島小学校との連携

信州型コミュニティスクールに運営委員として参加

#### ◎その他

長野市青少年健全育成フェスティバルや情報交換会など長野市主催行事に参加

今後も大豆島の未来を担う子供たちの健全育成の為に活動を進めてまいりますので、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



# 人権同和教育部会

「令和5年度を振り返って」

部会長 中村 幸一

コロナ感染症が昨年5月に2類から5類になったことにより、人権同和教育部会の事業が当初の計画どおり実施された。運営に携わった全ての役員の皆様、人権教育標語・人権学習発表等にご協力頂いた大豆島小学校、犀陵中学校、長野東高等学校の皆様にご心から感謝申し上げます。

## ◆人権同和教育部会が主催する研修会の開催

6月1日(木)	第2回部会 (研修会)	大豆島隣保館	研修(隣保館の役割と部落差別解消への取り組み) 講師 大豆島隣保館 館長 米山浩史 氏
9月1日(木)	役員及び各種団体 長人権研修会	多目的ホール	研修(ハラスメントについて) 講師 県人権啓発センター 笠井弥生 氏
9月3日(土)	第52回人権同和 教育推進住民大会	多目的ホール	人権同和教育標語の発表と表彰 実践発表(大豆島小・犀陵中・長野東高) 講演会 清泉女学院短大 小松仁美 氏

## ◆地域公民館における人権教育研修会の開催

各地区の副館長は、人権教育推進員(昨年度まで人権教育指導員)となり、地区人権教育を精力的に推進していただいた。その結果全地区で研修会が開催でき、参加者は全体で188名に上った。

6/10(土)	中区公民館	人権について	長野市指導主事 木内 昇 氏	30人
8/20(日)	西風間公民館	同和教育の昔と今	長野県同推協 清水 稔 氏	36人
8/27(日)	東区公民館	高齢者と振り込め詐欺他	県警特殊詐欺抑止対策室 北澤 忍 氏	15人
9/23(土)	下区公民館	SNS上における人権問題	大豆島隣保館長 米山浩史 氏	23人
10/21(土)	松岡公民館	インターネット・SNSと人権問題	大豆島隣保館館長 米山浩史 氏	25人
11/18(土)	東風間公民館	大豆島隣保館の役割と部落差別解消への取組み	同上	28人
12/3(日)	上区公民館	ハラスメントのない明るい職場・地域づくり	北信教育事務所 宮坂 宏 氏	31人

## ◆大豆島隣保館主催事業への参加

・9/2(土)現地視察研修 慈眼寺清水寺及び貞享義民記念館(松本市・安曇野市)  
人権課題解決に向けた地域のコミュニティセンターである隣保館と当部会との交流は重要なことであり、視察への参加は人権学習と啓発に有意義な機会となっている。

# 安全防災部会

「令和5年度活動報告」

部会長 前田 敏彦

安全防災部会の組織は5団体での構成となっています。各団体の活動は一部を除き新型コロナウイルス禍以前の状況に戻りつつあります。実施された今年度の重要事業内容を報告致します。

## ◇交通安全協会大豆島支部

全国交通安全運動 春、夏、秋、年末の実施  
長野マラソン警備  
大豆島小学校交通安全教室  
大豆島甚句まつり交通警備



## ◇防犯協力会

年末防犯研修会(6, 12月)  
年末防犯・飲酒運転防止街頭啓発イベント  
各地区年末防犯パトロール  
地域安全啓発ポスター(立て看板)の配布

## ◇防災指導員

各地区消火栓ボックス内器具の点検、防災訓練参加  
大豆島地区防災訓練及び年末パトロール参加

※大豆島地区の安心・安全を守るため、各団体の活動に対し今後ご支援ご協力をお願い致します。

## ◇消防団大豆島分団

毎月7日「市民防災の日」積載車広報活動  
火災予防運動(年5回)の広報活動  
大豆島地区合同防災訓練への参加  
年末特別警戒の実施

## ◇自主防災会連絡協議会

自主防災会連絡協議会開催(5, 9月)  
各地区の初期消火用具の修理・更新  
大豆島地区合同防災訓練の実施(9月)



大豆島地区の皆様、地域の環境美化にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

常会長様をはじめとした区民の皆様にはゴミゼロ運動、犀川左岸の一斉クリーン作戦、大豆島公園愛護活動にご参加いただきました。また側溝等の清掃、アメリカシロヒトリ防除にご協力をいただくと共に、ごみステーションについては鍵の開閉、清掃、違反ごみの対応等にご協力いただきありがとうございます。

各地区の環境美化推進会長は4年ぶりに7月に開かれた第44回大豆島甚句まつりで、会場の清掃とごみの回収作業等を支援しました。

10月には「ごみ分別強調月間」で更なるごみの減量とリサイクルに取り組む機会として長野市環境部生活環境課による「ごみ集積所巡回」が実施されました。

なかなかルール違反ごみが無くなりません。ごみの分別方法が多岐に分かれており、間違えやすいところもありますので、ルール違反ごみが無くなるよう、広報に務めていきたいと思えます。

区民の皆様の環境美化への取り組みに感謝すると共に引き続きのご協力をお願い申し上げます。



甚句まつり準備での草刈り・清掃

【大豆島原産名菊「巴の錦」保存会】

新型コロナ対策をしながら、以下のような活動を行いました。

- 4月 挿し芽講習会 開催地区と資料配布のみの地区あり
- 6月 菊苗の頒布会 約400本頒布(重陽友の会による苗の準備)
- 7月 定植講習会 8月 花芽管理講習会 11月 巴の錦菊花展

【大豆島甚句保存会 活動】

- 3月 大岡芸能祭参加 大豆島甚句披露
- 5月 長野市文化芸術祭参加 大豆島甚句披露
- 6月 長野市甚句音頭交流会(安茂里公民館) 大豆島甚句披露
- 7月 第44回大豆島甚句まつり 皆様のご協力により盛大に開催
- 8月 善光寺お盆縁日参加 大豆島甚句披露
- 11月・12月 大豆島小学校3年生に歌・鳴り物披露、踊りの指導

【神楽保存会 活動】



子供獅子も披露

松岡甚句保存会 ・4月春祭り 神社奉納 ・9月敬老会 祝いの舞 ・10月秋祭り神社奉納	大豆島神楽保存会 ・毎月第2、4木曜日練習 PM7:00 から ・4月春祭り 下区公民館、東区公民館、本宮公民館奉納 ・10月秋祭り 中区公民館、秋葉社、本宮奉納
東風間神楽保存会 ・4月春祭り 神楽奉納 ・9月秋祭り 神楽奉納	風間大々神楽保存会 ・春季大祭、秋季大祭で神社、個人宅への奉納 ・長野獅子舞フェスティバル参加 ・2024/1/28 住自協新年祝賀会にて舞披露

●5 地区交流会は新型コロナ感染者が会員内で出たため延期を決め、2024/2/18に開催決定